



勇壮な応援合戦！ どの団も輝く熱演



祝！フェンシング部 北信越大会 男女学校対抗戦アベック優勝！

6月20、21日福井県武生商工高校にて

Never give up

Do your best

富山西高校フェンシングぶっちぎりの強さ！！

男子団体戦・武生商工高校（準決勝）5-1 女子団体戦・赤穂高校（準決勝）5-3
箕輪進修高校（決勝）5-3で勝利！！ 北陸高校（決勝）5-3で勝利！！

男子学校対抗戦では、準決勝で武生商工高校（福井県）に5-1で勝利し、決勝で箕輪進修高校（長野県）と対戦し5-3で勝利し、優勝しました。

男子エース・前田迅理選手は、明るい性格が魅力です。技のダイナミックなポーズと、とびきりの笑顔が印象的です。勝ちが決まった瞬間の「メルシー！！」というかけ声が会場に響き渡っていました。高野兼斗選手、向島京平選手は、3年間のプライドを胸に、ここぞという戦いで確実に仕留める。自分たちが果敢と必死の戦いを果たしていました。長身から繰り出される鋭く迫力ある剣さばきは、会場を沸かせました。男子チームの戦いに、富山西高校フェンシング部の明るさと誇りを感じました。

会場となった武生商工高校のアリーナ。県立高校ながら冷暖房設備が整い、快適な環境で試合が行われていました。記者は観客席から全体を見渡しながら撮影していました。会場には地元ジュニアフェンシングクラブの子どもたちが多数訪れており、熱心に応援する姿がられました。観戦中、構えのポーズから幼い頃から慣れ親しむ様子が見え、富山西県におけるフェンシングの熱意を感じました。フェンシングは、小さな頃から競技を始め、世代を超えて受け継がれていく競技です。福井県の競技環境を目の当たりにし、富山西県においても、ジュニアクラブや速星中学校フェンシング部との連携をさらに深めていくことが重要だと感じました。3年生のエース世代が卒業した後も、次の世代へ後援をつないでいけるかが今後の鍵となりそうです。

女子は、学校対抗戦準決勝で赤穂高校（長野県）に5-3で勝利し、決勝でも北陸高校（福井県）を5-3で破り、男女アベック優勝を果たしました。

女子エースの佐藤楓選手は華麗な攻めから確実に得点を重ね、西野光桜選手は気迫あふれる攻めで相手に追いつけず、勝利への強い執念を感じさせる戦いぶりから印象的でした。また、1年の友崎世利選手は強い先輩達の戦いぶりを見守り、今後の期待を感じさせる選手でした。

前田、佐藤選手と共に、平成6年度に富山西で開催された全国高校総体で、富山西高校が男子学校対抗優勝した際の選手の子も世代でもあり、フェンシングが世代を超えて受け継がれていることを実感しました。また、親御さんの試合中の声かけからは、フェンシング経験者ならではの的確な助言と、我が子を支える熱い思いが伝わってきました。

個人戦でエベに前田迅理選手（3位入賞）
フルーレに前田迅理・佐藤楓選手（優勝）
西野光桜選手（3位入賞）

個人戦では、20日に行われたエベで前田迅理選手が3位入賞しました。21日のフルーレでは、前田迅理選手と佐藤楓選手が優勝、西野光桜選手が3位に入賞しました。

決勝戦は、最後まで勝敗の行方が分からない、ハラハラと手に汗を握る展開となりました。その後の表彰式では、激闘を終えた3人の選手たちが、達成感に満ちた素晴らしい笑顔を見せてくれました。



男子学校対抗決勝トーナメント表
決勝トーナメント

[1] 1位	富山西
[2] 1位	武生商工
[1] 2位	北陸
[2] 1位	箕輪進修

女子学校対抗決勝トーナメント表
決勝トーナメント

[1] 1位	赤穂
[2] 2位	富山西
[1] 2位	北陸
[2] 1位	武生商工